中1 社会 歴史 中世 穴うめ（20問）　版Pの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 承久の乱のあと朝廷を監視するため京都に置いたのが（　　）だ	六波羅探題
(2) 土地を仲立ちにした主従関係のしくみを（　　）という	封建制度
(3) 1232年に御成敗式目を定めたのは（　　）である	北条泰時
(4) 頼朝の弟で、平氏をほろぼしたのは（　　）である	源義経
(5) 北条氏が代々ついて実権をにぎった将軍の補佐役が（　　）だ	執権
(6) 親鸞が開き、阿弥陀仏を信じる心を大切にしたのが（　　）だ	浄土真宗 （一向宗・一向宗 でも正解）
(7) 国号を元と改め、日本に服属を求めたのは（　　）である	フビライ・ハン （フビライ・クビライ でも正解）
(8) 1297年に武士を救うため借金の帳消しを命じたのが（　　）だ	永仁の徳政令 （徳政令 でも正解）
(9) 南北朝が統一されたのは（　　）である	1392年
(10) 京都の北朝と吉野の南朝が対立した時代を（　　）という	南北朝時代
(11) 国を自分の領地のように支配するようになった守護を（　　）という	守護大名
(12) 仕入れた産物を別の国に売る、琉球王国の貿易を（　　）という	中継貿易
(13) 応仁の乱が始まったのは（　　）である	1467年
(14) 農民が寄合を開いて自分たちで運営した自治の村を（　　）という	惣 （惣村 でも正解）
(15) 戦国大名が領国を治めるために定めた独自の法を（　　）という	分国法 （家法 でも正解）
(16) 馬を使って物資を運んだ運送業者を（　　）という	馬借
(17) 明で学び、日本の水墨画を大成したのは（　　）である	雪舟
(18) 観阿弥・世阿弥が大成した歌や舞の劇を（　　）という	能 （能楽 でも正解）
(19) 上の句と下の句を何人かでよみつないでいく文芸を（　　）という	連歌
(20) 「一寸法師」など絵入りで民衆に親しまれた物語を（　　）という	御伽草子 （お伽草子・おとぎ草子 でも正解）